

広報 いいいで

2

13, February
2014
Vol.1043

子どもたちと
学校のために

写真／手ノ子小学校スキーフェスタ
開催に協力する保護者たち

- 03 **レポート◎つながりによる夢実現**
いいで美米倶楽部/柿の木会/JA山形おきたま飯豊地区青年部×
高円寺純情商店街×若乃井酒造(株)/町地域雇用創造推進協議会
- 08 **第5期飯豊町介護保険事業計画の状況**
- 10 **まちかどNEWS**
第40回七浦小学校交歓会／第二小学校と第一小学校で租
税教室／簡単クッキング「太巻きずし」ほか
- 12 **スナップショット**
- 13 **消費税引き上げにともなう上下水道料金の改定／サロン
実施地区を募集します**
- 14 **直伝おふくろの味**
- 15 **子育てファイル／あ～す図書室情報**
- 16 **ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き**
- 17 **健康 ikiiki プラス**
- 18 **お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記**
- 20 **第2回心の古里いいでフォトコンテスト**
「願いを込めて」

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
**villages
in japan**

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の 表紙

保護者の支えが あればこそ



保護者たちが作ったコースで、
元気に滑る1・2年生

2月7日、手ノ子小学校の校内スキー大会「スキーフェスタ」が行われました。毎年多くの保護者が裏方として大会実施を支えています。今年も、保護者は朝早くから集合して三角コーンやポールを設置してコース作りや、競技中は大会運営をサポートしていました。コース状況確認のためゲレンデを颯爽と滑るお父さんの姿を、嬉しそうに目で追う児童も見受けられました。

その活動からは、飯豊の無尽蔵の可能性を感じます

つながりによる 夢実現



人は、夢や目的のためにまとまり、集団をつくります。町内には、たくさんの団体や組織が存在し、それぞれが夢や目的をもって活動しています。

昨年、活躍めざましい団体が町内で多数見受けられました。そのような団体に共通するのは、行動することによって生まれたつながりやが現状を改善し、新たな段階へ押し上げていくことです。

つながることで夢を実現した団体をご紹介します。町の可能性を感じてください。



飯豊産米の海外輸出
行先は「香港」

いいで美米倶楽部

昨年12月、1台のトレーラーが飯豊から新潟港に向けて出発した。積荷は飯豊産はえぬき。米の終着地は、人口700万人を超える国際都市「香港」。

米の生産者は「いいで美米倶楽部」（菅野誠一会長・中）。平成17年5月、穀物分野のGAP認証を目指して町内の農家7名が設立した団体だ。認証によって欧州への米輸出にも道が開ける。設立当時のスローガンは「食の都パリで、自ら生産した米のすしを食べる」。平成18年、7名は穀物分野で日本初となるGAP認証を受けた。現在は15

夢があつた方が楽しいべ。若者が我々の姿に夢を重ねてくれたなら

名が所属している。

まさして輸出は始まった

欧州への米輸出は、実際のところ輸送コストや輸送中に発生するリスクを考えると、割に合わない。打開の糸口をつかめな

いまま7年の歳月が流れた。

平成24年12月、NPO法人日本GAP協会主催による香港への米輸出商談会が現地で行われた。倶楽部から3名が参加し、今回の輸出パートナーとつながりを持つことができた。相手は大手機械メーカー・クボタの現地子会社。既に日本産米の輸入を手がける実績豊富な力強いパートナーだ。商談の結果、米の品種は味と価格のバランスに優れたはえぬきに決まった。

商談会に参加したメンバーは、「多くの香港人は炊飯器を持っていないと聞いていたが、街にはおにぎり屋があり、客が並んでいた。米の需要はある」と現地の様子を興奮ぎみに語る。

今年の倶楽部の輸出実績は、香港へ玄米はえぬき6・9ト。米の大部分はおにぎりになる。

輸出に関する検査や手続きはパートナーが一手に引き受けるため、倶楽部は国内流通米と同じ検査を行うのみ。香港への輸出にはGAP認証は不要であるが、今回の輸出では認証米を指定された。やはり、海外におけるGAP認証への信頼は厚い。

今後の展開

国内の顧客を大事にしながら、海外にもファンを広げたいと、メンバーの思いは共通している。菅野会長は「米輸出は飯豊町では草分けだが、全国的には後発」と冷静に現状を捉える。反面、「どこかに誰かが一歩を踏み出し、足跡を残さなければならぬ」と思いは熱い。

倶楽部は、新たな輸出先開拓と輸出規模拡大を見据え、飯豊で、農業で生きる覚悟のある同志を増やして法人化を将来構想としている。「ゆくゆくは、若者たちに組織と事業と夢を引き継いでもらいたい」と菅野会長は期待を寄せる。

インタビュー中のメンバーの顔は一樣に明るい。

※GAPとは Good Agricultural Practice

安全な農産物栽培や環境保全に取り組む農場に与えられる認証制度。欧州ではGAP認証農産物の認知度が高く、大手量販店はGAP認証を取引条件として要求している



②



③

- ① 輸出直前の倶楽部メンバー
- ② 香港オフィス街のおにぎり屋
- ③ 目を引く「輸出用」の文字



①



収穫されない柿を使った
商品開発と販売

柿の木会



柿の木会が開発・販売する商品 (一部)

チャンス!と言えるのは成功してから



代表の信田明宏さん(柿)

飯豊の柿を使った商品開発と販売を手掛ける「柿の木会」。

メンバーは、(株)香月、農家レストランエルベ、若乃井酒造(株)、来々軒と米沢市の西洋菓子プラントンの5事業者。来々軒の信田明宏さんが代表を務めている。

もったいないと危機感

信田さんが柿商品の開発に動き出したのは、もったいない、気持ちと町で商売を続けることの「危機感」から。

数年前、友人から柿を枝ごともらったとき、自身の周りに目を向けると、収穫されないままの柿の多さに改めて気が付いた。1人で柿を収穫し、干し柿や渋抜き柿として販売してみたが、売れ行きは思わしくなく、販売を断念せざるを得なかった。しかし、加工して売れる商品にしたいとの思いは残った。

飯豊の冬は、観光客数が減り、地元の方も外出を控える時期。商店にとってはこの時期の収入源確保が生活に直結する。

訪れた転機

2年前、地域雇用創造推進協議会が設立されたことと、町の特産品開発補助制度が創設されたことが大きな転機となった。補助を受け、協議会主催のセミナーにも参加した。そこで、商

品開発と販売の基礎を学ぶとともに、講師陣の方々と出会い個別のアドバイスを受けた。

柿の木会で使用する柿は、信田さんを主に多くの方の協力を得て収穫して会員に卸した。そして会員は、得意分野を生かして、大福、アイス、リキュール、柿酢やジャムなどを開発。その間は、商品の魅力を高めるため、会員が膝を突き合わせて悩むこともしばしばだったとのこと。

信田さんは商品を手に、「協議会や講師の先生、収穫に協力いただいた方など、たくさんの方に支えていただきました。感謝しきれません」と話す。

昨年の暮れには、柿の木会の商品に加えコクワ酢や鞆(たづな)そば、椿味噌などをセットにしたギフト商品も完成した。「行動を起こすことで得られた人とのつながりが、商品の質と魅力を高め、新たな商品開発に発展した」と昨年を振り返る信田さん。

膨らむ夢

信田さんは、今回の食の商品開発だけでは満足していない。飯豊は森林が豊富なまち。「飯豊の木で建てた住宅に、飯豊の柿渋を塗装剤として利用できれば」と試作品の柿渋を見詰めながら夢を膨らませる。



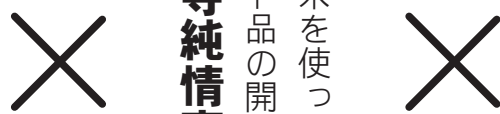
長く続けたからできた人とのつながり

10年続けた稲作体験出前
授業が新たな展開を生む
JA山形おきたま
飯豊地区青年部

飯豊の米を使った商店街
ブランド品の開発

高円寺純情商店街

飯豊産はえぬきで純米酒
若乃井酒造(株)



J A山形おきたま飯豊地区青年部（岩瀬也寸宏委員長・添川）は、町内の若手農業者団体です。専業、兼業を問わず現在約50名が所属しています。

特徴的な活動は、平成16年から東京の小学校と続けている稲作体験出前授業です。目的は、農業への関心を高めることと、飯豊ファンを増やして農産物購入につなげることに。年によって学校や校数を変えながら、昨年は6校と行いました。平成21年からJ A山形おきたまの米が学校給食に使用され、現在6校で子どもたちに提供されています。

新たなつながり

平成21年から出前授業を続けている杉並第四小学校の校区には、阿波おどり祭りで有名な高円寺純情商店街があります。その商店街の現商店会協同組合専務理事は同小学校の元PTA会長です。

昨年2月、専務理事から「商店街のブランド品開発に協力してほしい」と青年部に依頼がありました。経済産業省の委託事

業を受けたとのこと。青年部は依頼を承諾し、出前授業で栽培し町内でも作付面積の広いはえぬきを使った飯米と日本酒を提案しました。

飯米は青年部の得意分野ですが、日本酒は専門外。酒蔵の協力が不可欠と考え、青年部は町内唯一の酒蔵「若乃井酒造(株)」に協力を願いました。酒造としても、地元にこだわった日本酒を模索していた矢先の依頼。話はすぐにまとまり、昨年11月に町内産はえぬきによる仕込が始まりました。先月、一升瓶本分の純米酒が完成しました。「飯豊の酒蔵が、飯豊の水と米で作った純米酒。本物の飯豊の地酒です」と同酒造の杜氏兼専務の大沼氏は胸を張ります。

開発成功の要因

青年部を核としたブランド品開発で、中心的な役割を果たしてきた田中俊昭さんは、「人とのつながりだと思っています。杉並第四小学校とは、以前つながりを持った他校の校長先生が引き合わせてくれました。そこで専

務理事と出会いました。そして何より、10年間出前授業を続けた仲間とのつながりが大きかったと思います」。その言葉にうなずく青年部の方々でした。



① 1月末の金曜日夕方の高円寺純情商店街の様子
② 完成した飯豊産はえぬきの純米酒。カップ酒は高円寺純情商店街で販売され、一升瓶は「若泉」の銘柄で3月上旬に町内の酒屋さんなどで販売予定
③ 青年部が育てたはえぬき5kg詰めの米袋



地域発案の雇用創造



飯豊町地域雇用創造推進協議会



協議会の方々。最前列左から船渡川賢一さん、小池優さん、2列目鈴木結さん、木村良子さん、3列目田中俊昭さん、柳橋由広さん、草刈幸一さん

紹介した3団体は、それぞれが努力し、試行錯誤を繰り返して夢を実現しました。その間には多くの方と出会い、協力と支援を受けながらの前進でした。
最後に、3団体に共通する協力団体をご紹介します。飯豊町地域雇用創造推進協議会です。

迷ったら始めましょう
一緒にハードルを超えましょう

飯豊町地域雇用創造推進協議会（町長後藤幸平会長）は、厚生労働省の委託（平成24～26年度）を受けて、地域の実情を踏まえた発想や創意工夫によって雇用創出を目指す団体です。
職員は7名。行政や町内外の団体と連携しながら就職相談会の開催、求職者向け・企業向けセミナーや研修会の開催、商談会や博覧会への出展、商品開発や販路拡大を望む町民のサポートなどを行っています。

協議会と3団体

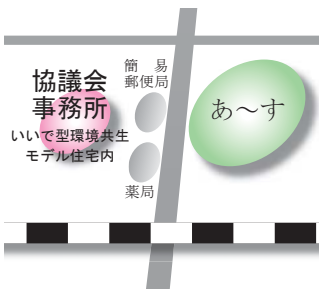
町民と町内企業の期待に応えるため、協議会の事業は実践的です。先月22日にハローワークと長井市雇用創造協議会と共催した就職相談会は、総求人数200人を超える規模でした。セミナーや研修会は、多岐にわたるテーマで経験豊富な講師陣を招いて行われています。今回ご紹介した3団体は、このような研修会への参加や協議会のサポートを受けながら夢の実現を果たしました。

いいで美米倶楽部は輸出に関する研修会に、柿の木会の信田

さんは加工や商品開発に関する研修会に参加しました。柿の木会の商品パンフレットやラベルのデザイン作成の際にも協議会のサポートがありました。はえぬきを使ったブランド品開発では、JA青年部や若乃井酒造（株）の繁忙期に、協議会は、3者間の連絡調整や各種イベントの準備などを行いました。

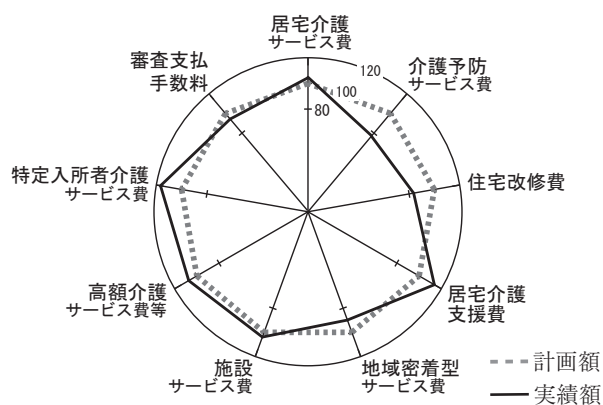
夢実現への芽出し

技術・商品開発や企業と求職者のマッチングなどの支援を行うチームの船渡川賢一リーダーは、「迷ったら始めましょう。スタート地点からゴールが見えなくても、進んだ分だけゴールに近づきます。一緒にハードルを超えて進みましょう」と力強く語ってくださいました。



〒999-0604
飯豊町大字椿3594-10
TEL87-0972 FAX87-0973
HP <http://iide-koyou.org/>

計画額と実績額の比較（計画額を100）



計画額より実績額が大きく増加しているのは、「特定入所者介護サービス費」「高額介護サービス費等」「居宅介護支援費」です。「居宅介護支援費」はケアプラン代です。

「特定入所者介護サービス費」は、低所得者の人が施設利用が困難とならないよう、居住費や食費の軽減を図るため給付されるサービス費です。

「高額介護サービス費等」は、利用者負担が高額になった時に支給されるサービス費です。

これらのサービス費については、施設入所やショート利用の際、給付や支給されることが多くなります。

平成24年度は、新たな施設開設や施設入所者が増えたため計画より増加しました。

○決算状況

歳入と歳出の状況から、約907万円の財源不足となりました。財源である保険料の不足とさらに介護サービスの総費用額が増加したことが原因です。不足する財源は、町介護給付費準備基金から200万円の繰出と山形県財政安定化基金から約1,100万円の貸付を受け、財源手当を要することになりました。財源手当後、残り400万円は、町介護給付費準備基金に積立て、平成25年度以降の財源不足に当てることとなります。

この山形県財政安定化基金貸付金については、第6期介護保険事業計画（平成27年度～平成29年度）の3年間で返還していくこととなり、第6期介護保険事業計画で決定する保険料に上乗せして算定します。

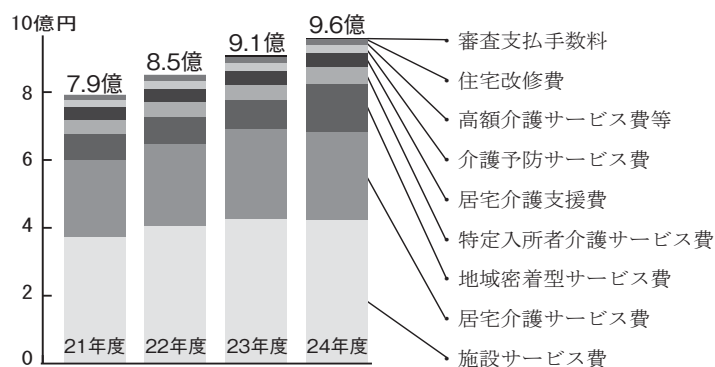
増加する費用

年々、介護サービスの総費用額は、約5,000万円ずつ増加しています。平成23年度と平成24年度を比較すると5,103万円増加しました。このままのペースで増加すれば保険料の財源不足が続き、更なる保険料額の引き上げが必要となります。

本町の要介護認定者率は、20.5%（県平均19.0%）、県内第3位と高い順位にあり、介護サービス利用者が多いことがうかがえます。これらの結果から、介護予防の促進とサービスの適正化を図ることが今後の課題になると考えられます。

また、今後とも、給付と負担のバランスに留意し、皆様に介護保険事業の情報をお伝えしながら、健全な運営に努めていきます。

年度別の介護サービス総費用（実績額）



介護予防を始めよう

いつまでも元気で生き生きと暮らすため介護予防を始めましょう。町が実施している事業を紹介します。

◆らくらく筋トレ教室

筋力トレーニングマシンやエアロバイクなどを使って運動不足を解消します。

専門スタッフがトレーニングメニューを作成して指導します。自分の時間に合わせて利用できるのも魅力です。

※現在は一時的に健康福祉センターを会場に実施しています



◆サロン活動（ほのぼのサロン、ゆうゆうクラブ）

地域の公民館などを会場に近所の仲間と一緒に毎週楽しく健康づくりを行います。

町が派遣するお世話係が活動をサポートします。ゲームや簡単な体操、お茶会など毎回色々な内容を企画しています。

※次年度の実施地区を募集中です。詳細は13ページをご覧ください



第5期 飯豊町介護保険事業計画の状況

介護保険は、3年ごとに策定する介護保険事業計画に沿って事業を進めます。
平成24～26年度は第5期計画の実施期間です。初年度（平成24年度）の決算状況から第5期介護保険事業計画の現状についてお知らせいたします。

介護の仕組み

介護保険は、介護や支援が必要となったときサービスが利用できる支え合いの制度です。運営は、市町村が主体となって行い、財源は、公費50%と40歳以上の方の保険料50%となっています。

財源となる保険料の決め方と納め方は、65歳以上の方と40歳～64歳の方でそれぞれ異なります。

○65歳以上の方の保険料（第1号被保険者）

保険料の額については、次のようにして市町村ごとに決まり、所得に応じて市町村に納めます。飯豊町第5期介護保険事業計画では、基準額が月額5,290円（年間63,480円）、さらに所得に応じて6段階に設定されています。

$$\text{基準額} = \frac{\text{町で必要な介護サービス総費用} \times \text{65歳以上の方の負担分（21\%）}}{\text{町の65歳以上の方の人数}}$$



※第5期介護保険事業計画では、介護サービスの総費用の増加を見込み、第4期介護保険事業計画と比較すると月額1,140円の大幅な値上げを行いました。

○40歳～64歳の方の保険料（第2号被保険者）

保険料の額については、加入している医療保険によって異なり、医療保険とあわせて納めます。

平成24年度の決算

○歳入

	①計画額	②必要額	③決算額	④差額（③－②）
第1号被保険者 介護保険料	15,990万円	16,107万円	15,200万円	▲907万円

始めに計画額（①）と決算額（③）を比較してみます。計画額（①）に対して保険料の収入＝決算額（③）が低いので、保険料が不足していることがわかります。理由は、第5期介護保険事業計画で決めた基準額より所得段階の低い層の方が計画より多く、保険料の収入が少なかったためです。

次に、歳出に必要な額（②）と決算額（③）を比較すると差額（④）が▲907万円となります。この差額が最終的な保険料の不足額となります。

また、収納率については、98.7%（平成24年度賦課分のみ）となり、194万円の未納が発生しています。皆さんが納める保険料は介護保険制度を運営するための大事な財源となります。

※保険料を納めないでいると、滞納期間に応じて、サービス費用の利用者負担が一割で利用できなくなる場合があります。

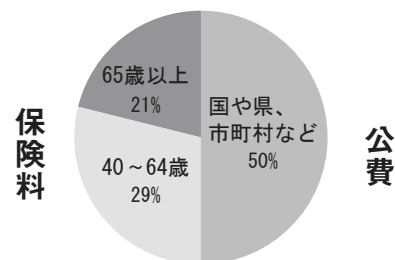
※第2号被保険者の保険料収入については、社会保険診療報酬支払基金より、医療保険とあわせて納付された分（29%）がまとめて町に入ります。

○支出

	①計画額	②決算額	差額（②－①）
介護サービス総費用額	94,074万円	95,838万円	1,764万円

介護サービスの総費用額は、計画額94,074万円に対して、決算額95,838万円と1,764万円計画値を大きく上回りました。サービスごとに計画額と決算額を比較すると次のようになります。

第5期介護保険の財源



まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課情報防災室まで（直通 ☎ 87-0522）



第40回七浦小学校交歓会

続いた交流は40年

1月18日～20日、南房総市立七浦小学校5年生11名と保護者7名が来町し、第一小5年生27名と交流しました。初日の会場は自然の家。歓迎式では両校児童とも緊張の面持ちでしたが、式後、宿泊部屋で荷物整理をしながら言葉を交わすうち、いつしか互いに名前呼び合いながら笑顔で会話を始めていました。夜には餅つきやヤハハエロなどを行いました。2日目はどんでん平スノーパークで雪遊びを楽しんだ後、宿泊受け入れ児童宅に移動して交流を深めました。

簡単クッキング「太巻きずし」

絵柄の美しさに感嘆の声



1月28日、こどもみらい館で、太巻きずし作りが行われました。講師に遠藤裕子さん(椿)を迎え、参加した親子15組は、断面の絵柄が梅の花とチューリップに見える太巻きずしに挑戦しました。太巻きずしは千葉県郷土料理で、この日の絵柄は遠藤さんが同県の栄養士学校在学中に学んだもの。お手本の絵柄の見事さに、参加者から「子どもが喜ぶ」「(この料理作ったら)家族がびっくりする」などの声が聞かれました。

第二小学校と第一小学校で租税教室

税のプロから税金を学ぶ



1月23日、第二小学校で、西置賜租税教育推進協議会主催による租税教室が行われました。現役税理士が講師となって、6年生9名に、身近な施設を税金が使われているものといないものに分けるゲームや、税金制度が無い生活を描いたアニメのDVDなどを使って税金の役割や重要性を伝えました。最後に1億円の札束のレプリカが登場し、児童たちは10kgの重さを体感しました。同教室は29日に第一小学校でも行われました。



チェーンソーカービングセミナー

直線も曲線も見事に表現

1月29日、コミュニティセンター除雪機格納庫で、飯豊町地域雇用創造推進協議会が主催して、丸太からチェーンソーで彫刻芸術を作り出すセミナーが行われました。セミナーの目的は、町の豊富な森林を利用した多様なもの作りによる若者定住や雇用創出。講師に国内外の大会で優勝経験豊富な栗田広行氏（新庄市）を迎え、町内外から参加した7名は、講師の指導を受けながら丸太を切る、削る、掘るを繰り返してフクロウ1体を完成させました。

いいで“Fun” Club 交流会

大自然と人柄に魅せられて



1月12日、町内で「いいで“Fun”^{ファン} Club 交流会」が行われました。ダニエル・カール会長をはじめ県外から参加したクラブ会員や町観光協会員など約20名が参加して、どんでん平スノーパークで雪上バナナボートやスノーモービル乗車体験などを楽しみました。夕方いいで旅館で行われた懇親会では、郷土料理を食べながら、方言を交えた会話でゆっくと交流を深め合っていました。

手ノ子スキー場感謝デー

日頃の利用に感謝をこめて



1月26日、手ノ子スキー場で、感謝イベントが行われました。スキー場活性化組合が企画し、今年で5回目。先着100人に豚汁が振る舞われた後、125名が参加して抽選会が行われました。1等の石油ストーブは同スキー場を練習場とするレーシングクラブのメンバーに当たりました。賞品の中には、今年夏にスキー場で開催するピアガーデンのペア招待券もあり、施設の通年利用を目指す組合の工夫を感じるイベントでした。



やまがた・ふくしま少年少女交流事業「冬キャンプ」

一緒にあそぼう、お隣のもの

1月11日～13日、自然の家で、山形県教育委員会が主催して「やまがた・ふくしま少年少女交流事業」が行われました。同事業の目的は、福島県の児童に屋外でのびのびと活動できる機会を提供することや、隣県との友情を育むことなどです。主に相馬市から35名12家族が参加し、受け入れ側として参加した置賜の児童13名と南陽高校のJRC部員8名・山形北高校の生徒2名と共に、チューブ滑りやスノーハイキング、雪原の花火などを行い、冬の山形を満喫しました。

まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します



1/5
~2/2

キララ☆親子スキー教室
(手ノ子スキー場)



1/2

めざみの里書初め大会
(物産館)



1/11

第46回西置賜地区スポーツ振興懇談会
平成25年度飯豊町スポーツ振興懇談会

西置賜地区スポーツ振興懇談会・町
スポーツ振興懇談会 (いいで旅館)



1/10

スキー指導者へのスキー講習会
(手ノ子スキー場)



1/6

町新春賀詞交歓会
(いいで旅館)



1/12
~2/9

西部スキー教室
(手ノ子スキー場)



1/12

町消防団出初式
(あ~す)



1/11~
2/23

「どんでん平スノーパーク」
オープン (どんでん平ゆり園)



1/25

第17回いいでめざみの里新春
将棋大会 (中部地区公民館)



1/22

さわやかクラブ「米粉を使った
料理教室」 (西部地区公民館)



1/15

だんご下げ
(こどもみらい館)

消費税引き上げにともなう上下水道料金の改定

4月1日より消費税が5%から8%に引き上げられることにより、町の施設使用料などが改定になります。

水道料金と下水道使用料は6月1日から改定となります。一般家庭の料金は下記のとおりです。団体用や営業用などの料金についてはお問い合わせ下さい。

◆水道料金 (単位：円)

口径	基本料金 (10m ³)		超過料金 (1 m ³ 毎)	
	5%	8%	5%	8%
13mm	2,100	2,160	210	216
20mm	2,289	2,354		
25mm	2,352	2,419		
30mm	2,478	2,548		

◆下水道使用料 (単位：円)

使用量	基本料金 (10m ³)		超過料金 (1 m ³ 毎)	
	5%	8%	5%	8%
0~100m ³	1,470	1,512	147	151
101m ³ ~			157	162

サロン実施地区を募集します!!

地域住民の交流の場、気軽に集まれる場づくりとしてサロンを実施しています。町実施の「ほのぼのサロン」と社会福祉協議会実施の「いきいきサロン」があります。今年度実施した地区を含め、実施を希望される場合は部落・自治会などで調整の上、お申し込みください。なお、両サロンに重複しての申し込みはご遠慮下さい。

ほのぼのサロン

ほのぼのサロンは、高齢者を対象に、公民館を会場に楽しく健康づくりを支援する事業です。

町が派遣するお世話係と一緒にゲームや簡単な体操、お茶会をします。複数の地区との共同開催も可能です。

◆申込要件

- 65歳以上の方が常時10~15人程度参加できること
- 会場の公民館の借上(予約)に部落・自治会などとして協力していただけること
- 参加者への事務連絡などで部落・自治会などからの協力をお願いできること

◆留意事項

- ・公民館使用や光熱水費は地区の負担となります
- ◆年会費/一人5,000円(茶菓代など)
- ◆実施期間/4月~翌年3月までの週1回(年間40回程度)、9:30~2時間程度
- ◆会場/地域の公民館など
- ◆申込締切/3月17日(月)
- ※申込多数の場合、相談させていただく場合あり
- ◆申込方法/下記に電話で申し込み
- ◆申込・問合せ先/町地域包括支援センター

☎86-2233

いきいきサロン

いきいきサロンは、地域の高齢者や障がい者などが地域の公民館など身近な場所を会場に気軽に集まれる交流の場をつくる事業です。

近所の仲間や民生委員、ボランティアの方などが自主的に運営します。活動は、レクリエーションや出前講座、料理教室などみんなで話し合っています。複数の地区との共同開催も可能です。

- ◆申込要件/地域規模にもよりますが、10人程度の参加が望ましいです(年齢制限なし)

◆留意事項

- ・公民館使用や光熱水費は地区の負担となります
- ◆費用/なるべくお金をかけずに行います
- ◆活動支援/共同募金配分金から助成を行います(光熱費や備品購入以外への支払可)
- ※助成金額は実施地区数によって毎年異なります。
- ほかに、用具の貸し出しや講師の調整なども行います
- ◆実施期間/4月~翌年3月までの無理のない範囲。月1回でも週1回でも、冬期間限定の実施も可能
- ◆会場/地域の公民館など。個人宅も可能
- ◆申込締切/3月24日(月)
- ◆申込方法/今月27日に部落長・自治会長宛にお配りする実施計画書と参加予定者名簿を下記に提出ください
- ◆申込・問合せ先/町社会福祉協議会事務局

☎72-3353

直伝おふくろの味

花満開の春
春山ちらし

【材料】(5人分) ※①大さじ ②小さじ
《飾り用》

◇レンコン…150g ▼A…酢④4、水

①2、砂糖①1½、塩①½

◇ニンジン…1本 ▼B…みりん①1、塩少々

◇錦糸卵…卵1個分、千切りの茹絹さや…少々、甘酢生姜…少々

《混ぜ込み具材》

◇水煮ゼンマイ…100g、凍り豆腐・油揚げ…各2枚、干しシイタケ…3枚

▼C…しょう油①3½、砂糖・みりん・酒各①1

《すし飯》
◇うるち米…3カップ ▼酢④4、砂糖②2、塩①½

【作り方】

①レンコンは4cm分を穴に沿ってむき、厚さ5mmの輪切りにし、水にさらした後、煮立てたAで炒り煮する。切れ端と残りは細かく刻む(具材用)

②花形に抜いたニンジン、ひたひたの水にBを加えて3分ほど煮る。そのまま冷まして味を含ませる。残りは細切り(具材用)

③混ぜ込み具材は食べやすい大きさに刻み、調味料(シイタケの戻し汁・水・Cを合わせてカップ1½)で5分ほど炒り煮する。

④すし飯に汁気を切った③を混ぜ合わせ、お皿にこんもりと盛り付け、錦糸卵・絹さや・花レンコン・花ニンジンを彩りよく散らし、甘酢生姜を添えれば出来上がり。

ひな祭りにどうぞ。
春の花咲くちらし寿司

もうすぐ桃の節句です。女の子にとっては特別な日。ひな人形が飾られると家中が華やかな雰囲気です。満たされます。

そんな弾む気持ちを一層盛り上げてくれるのが、今回ご紹介するちらし寿司です。すし飯をこんもりと盛り付け、花形のレンコンやニンジン、錦糸卵に絹さやを散らせれば、色彩豊かな春花のお山のようです。

ちらし寿司は、子どもが小さいうちから一緒に作ることができる料理です。具材とすし飯を混ぜたり、飾りの具材を散らしたりと、子どもも楽しみながらお手伝いします。

娘や孫娘の健やかな成長を、美味しい料理を家族で囲みながらお祝いする。家族にとってこの日のすべての出来事が、桃の節句の思い出になります。何かと忙しい時代ですが、省略せずにきちんとお祝いしたいものです。



小白川地区
食生活改善推進員
上田道子さん



こどもみらい館の予定表
(2月・3月の日程)

- 2月26日(水) 10:30～ かんがる一広場
- 27日(木) 10:15～ 栄養士さんの指導 (要予約)
- 3月5日(水) 10:30～ おはなし広場
- 6日(木) 10:00～ 身長体重測定
- 7日(金) 10:30～ 大きくなったね会 (要予約)
- 12日(水) 10:30～ あそびの広場・避難訓練
- 13日(木) 10:30～ 親子交通教室
- 15日(土) 10:30～ ブックスタート

大きくなったね会 4月からの写真を展示
3月7日(金) 10:30～ します。思い出を振り
こどもみらい館 返り、子どもの成長を感じ
てみませんか。要予約

episode

子育て応援
談
kosodate
ouendan

“大勢の中”で子育て
萩生のKさんより

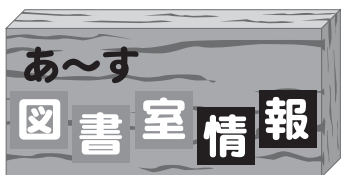
わが家は4世代同居。現代は核家族が増えていますが、子どもを育てるなら“大勢の中”が理想だと思っています。それは子どもにとっても、大人にとってもです。

例えば、子どもにとっては、家族の誰かがそばに居て愛情を注いでくれますし、怒られたときには誰かが助け舟を出して気持ちを穏やかにしてくれます。大人にとっては、私もそうでしたが、子育て真っ最中のころは仕事も忙しく気持ちに余裕がなくなることが度々です。少しの間でも家族に子どもの面倒を見てもらうと、ずいぶん心が軽くなり、その後は一層の愛情を注げたものでした。

お婆ちゃんになった今は、孫可愛さと母への感謝を込めて、当時の母がしてくれたように孫の世話をしています。大勢の中は、思いやりや助け合いが生まれ易く、恩返し繋がる素敵な環境だと思います。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間/8:30~12:00、13:00~17:00



今月の
おすすめ図書



児童図書

「鬼まつりの夜」

富安陽子/作 はせがわかこ/絵
講談社

節分の夜、よび声に引きよせられたケイタは、「鬼ごっこ」をするために。その相手は赤いはだかんぼの体にトラ皮のパンツ一丁、さらに頭にはりっぱなつのがはえていて…。巻末に「2月のまめちしき」を収録。



児童図書

「いのちをいただく」

内田美智子/作 魚戸おさむとゆかい
ななかまたち/絵 講談社

坂本さんは、牛の命を解いて(殺して)お肉にする仕事をしています。ある日、息子のしのぶくんは授業参観でお父さんの仕事を尋ねられて、「普通の肉屋です」と言いましたが…。命をいただくことの意味を問いかけてくる絵本。

一般図書

ペテロの葬列

宮部みゆき/著 集英社



拳銃を持った老人によるバスジャックに遭遇した杉村。あっけなく解決したかに見えた事件の動機の裏側には、深い闇が隠されていた…。「誰か」「名もなき毒」に続く杉村三郎シリーズ第3弾。

一般図書

大切にしたい、
にっぽんの暮らし。

さとうひろみ/著 サンクチュアリ出版
手軽に歳時記のある暮らしを楽しむための入門書。ワンプレートおせちや折り紙で作る雛人形のほか、行事の意味や由来、旬の食材を使った簡単レシピなどをカラフルなイラストとともに紹介する。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ〜す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



スノーモービル

いいでスノーモービルクラブ

- ◆会長／島貫祐二さん(中)
- ◆活動／小グループで走行を楽しむとともに、3月に交流会を開催し、親睦と走行技術の向上を図る。どんでん平スノーパークで乗車体験を指導
- ◆募集対象／経験・年齢・性別・住所を問わず。スノーモービルを持たない方も歓迎！

●いいでスノーモービルクラブへの入会などのお問い合わせは、伊藤勝昭☎77-2631まで

◆ピーアール

平成18年12月、それまで趣味としてスノーモービルを楽しんでいた方々が、町を訪れる台湾人に乗車体験を指導するため、町観光協会の求めに応じて当クラブを設立しました。メンバーは15名。運転時は左右への体重移動で進行方向を変えます。運動量が多くまさに全身スポーツ。その様子はインターネットの動画共有サイトで公開中です。免許不要ですが、安全走行のためには講習会の受講が望まれます。「走行フィールドは、歩いては行けないような雪深い森林や原野などの大自然。最高の雪景色を楽しめます。自然環境に負荷をかけない走行とマナーを心がけています」と島貫会長は話します。



島貫さんにとって
スノーモービルとは…

雪との楽しい遊び

◀島貫祐二さん

連載 随想

町長の思ふ歩き

54

後藤 幸平

「約束」
頼んだよ、の一言に、はい分かったと返事して何もしなければ信頼関係に傷がつく。約束は守るべきものである。しかし、守れないこともある。

明治の初期に米沢を訪れて洋学の指導をし、のちに米沢牛の元祖となる添川村の牛を横浜まで連れて行ったチャールズ・ヘンリー・ダラス氏の『置賜県収録』の伝聞によれば、頼まれて困ったときの断り文句に「飯豊山の雪が消えたら」という婉曲な断り方が置賜にはあるという。万年雪の飯豊山の雪は融けることがないわけだから、約束を実行することは永久にないことになる。「ノー」とは言わずに上手にお断りする絶妙な表現である。ダラスはこの置賜の文化に感心したのである。

頼まれごとの多い町長の立場である。実は就任するときに心に誓ったことがある。ダメです、出来ません、ご理解ください、とは出来るだけ言わないということだ。誰だって困ったから頼むのであるからまずは聞かなければならない。約束とまではいなくてもお聞きしますというスタ

ンスは大事だ。しかし、これがのちに混乱をもたらす迷惑につながる。町の財政には限度がある。依頼者の頼みごとを全て実行できるとは限らない。しかも町民に平等な対応をしなければならぬのだから、それは可能かというところはいかなるものが町としての結論であることが少なくない。それでも、約束は守る、仕事を果たす、実行する人でありたいとも思っている。

幸せにするから、夢をかなえるからと口説いて一緒になった夫婦でも苦勞の連続だったりすることがある。告詰などで食事をさせたこともあり、そんないいながら四十年もたつと鯖缶が続いたりする。一緒に旅行をしたのは新婚旅行たった一度だけ、仕事や世間のことで苦勞の掛け通しという話もある。

しかし、お互いの立場や守れない理由が分かり合えるから、むしろ、思いやりが生まれ、心の絆は深まっていく。約束とは違う曲がりくねった坂道の連続であっても、出合いの頃とは別の、本物の幸せが待っている。それが人生というものである。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。



- 今月のテーマ
- ・働き盛りのがん予防
 - ・足の筋力アップ

左記の表は国民健康保険加入者で平成25年5月に「がん」で医療機関を受診した人の割合です。例えば、45〜49歳では1000人中337人が受診しています。飯豊町は、40代、50代の働き盛りの年代にがんが多いことがうかがえます。

悪性新生物(がん)の受診割合 (100人当たりの人数)

	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳
町	1.35	3.37	2.68	1.50
置賜	0.49	1.13	1.61	1.96
県	0.81	1.26	1.46	2.16

がんは生活習慣病です

がんは突然発症するものではありません。発症するまでは長い年月がかかり、それまでの生活習慣の積み重ねが原因となることが多いのです。

国立がん研究センターは、たばこ、飲酒、食事、身体活動、肥満度の5つの生活習慣の改善でがんのリスクを低下できると発表しています。

この5つの生活習慣に関する町の健康調査は下記のとおりで、いずれも改善が必要な状況です。

1 たばこを吸っている	20.7
2 休肝日を設けていない	55.1
3 野菜摂取量不足	30.9
4 運動不足を感じる	69.1
5 小学生の肥満	17.1
成人の肥満	29.5

単位：%

これらに対しての具体的な改善方法は次の通りです。一つでも多く実践することが、がん予防につながります。

がんリスクを下げる5つの習慣

- ① たばこを吸わない
- ② お酒は週2日の休肝日を設ける
- ③ 1食に小皿2皿分の野菜をしっかりと食べる(漬物以外)。減塩を心がけ加工食品の摂取を減らす
- ④ 30分程度の運動を週2日以上行う
- ⑤ 適正体重を維持する

(BMI: 男性21〜27、女性19〜25)
※BMI = 体重kg ÷ (身長m × 身長m)

必ず検診を受けよう!

がんは早期に発見し治療をすることで治すことも可能です。若いから検診は受けなくてもいいということはありません。町では胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮頸がんの6つのがん検診を実施します。勤め先で実施されるがん検診以外のものは町の検診で積極的に受診しましょう。

元気に歩ける足を目指そう

寒くてこたつでじっとしていたいという方も多いのではないのでしょうか? 年をとっても元気に歩けるようにするためには、冬の間も筋力が衰えないように意識して筋肉を使うことが大切です。

今回はテレビを見ながらでも簡単にできる足の筋力をアップする運動を紹介します。

●足の筋力アップ【目標5〜10回】

- ① 両手を後ろにつけて、両ひざを曲げて床に座ります
- ② 背筋を伸ばします
- ③ 片方の足の膝を伸ばして足を持ち上げます
- ④ 足を持ち上げた状態で5秒間静止します
- ⑤ もう一方の足も同様に行います

※持ち上げた方の足の太もも前面の筋肉がかたくなっていることを確認しましょう

※余裕のある方は、持ち上げた方の足のつま先を自分の方に向けてみまら行ってみましょう



飯豊町役場
電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

消費者講演会ご案内

NHK「バラエティー生活笑百科」でおなじみの三瀬 顕 弁護士を講師に迎え、生活に役立つ法律の講演会を行います。

- ◆日時／2月23日(日) 9:30～
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆内容／私たちが知っておきたい消費者を守る法律について
- ◆入場料／無料
- ※お子様連れのご来場はご遠慮ください
- ◆問合せ先／役場住民税務課生活環境室 ☎87-0514

おきたま食の応援団「スタンプラリー冬の陣」開催

おきたま食の応援団では、グリーンフラッグ店スタンプラリーを開催しています。

グリーンフラッグ店とは、置賜の食にこだわりを持って商品を販売・提供するお店で、置賜内に約300店あります。期間中、異なる4つのお店のスタンプを集めて応募すると、抽選で素敵な賞品が当たります。

スタンプを集めて置賜の農産物を応援し、素敵な賞品を当てましょう。

- ◆期間終了日／3月16日(日)
- ◆応募方法
お店にある応募ハガキに、異なる4つのお店のスタンプを集めて応募
- ◆賞品
○5,000円相当…10本
○3,000円相当…20本
○1,000～2,000円相当…65本
- ◆問合せ先
おきたま食の応援団事務局(置賜総合支庁農業振興課) ☎0238-26-6051
※詳しくは「おきたま食の応援団」専用ホームページをご覧ください。

消防署からのお知らせ

◆救急車を呼ぶときは落ち着いて119
電話で救急車を呼ぶときは、市外局番無しの「119」です。携帯電話からも同じです。

- ◇電話で伝えること
○要件は「火事」、「救急」のどちらか
○発生場所はどこか(住所。自宅なら「階段」や「玄関」など詳細に)
○誰がどうしたのか
○それはいつから(何分前、何日前)
○かかりつけの病院名
○電話をかけた方の氏名と電話番号

◆もしもの備え「救急カード」
「救急カード」とは、救急要請をして救急隊が到着した時に聞かれる内容を事前に記載しておくカードです。

大切な家族が倒れたり大けがをしたら、あなたは落ち着いて対応できますか。救急カードの項目について、メモ用紙等を利用し事前に記入しておくことで、正確な情報を早く確実に伝えることができます。

- ◇救急カードの項目
○住所：
○氏名：
○性別：
○生年月日：
○電話番号：
○かかっている病気名：
○かかりつけの病院名：
○飲んでいる薬：
○公立置賜総合病院のカード番号：
○どんな症状？：
○いつから？：
○何をしていた時に？：

◆問合せ先／西置賜行政組合消防署飯豊分署 ☎72-2222

山形県木炭講演会のお知らせ

個人や地域で楽しく炭焼きに取り組む方法などについて学んでみませんか。参加は無料です。当日9:30から山形県木炭品評会も併催します。

- ◆日時／2月21日(金) 13:00～
- ◆場所／白鷹町文化交流センターあゆーむ
- ◆内容／講師：小谷義隆炭焼師
演題：木炭生産を通じた地域振興の取組事例等について(能勢菊炭の取組)
- ◆問合せ先／置賜総合支庁森林整備課普及担当 ☎0238-26-6063

チェーンソーメンテナンス無料講習会

- ◆日時／3月14日(金) 13:30～
- ◆場所／置賜総合支庁西庁舎
- ◆内容／○講義：安全作業について
○実技・実演：メンテナンスについて
- ◆定員／30名
- ◆申込期限／3月7日(金)まで
- ◆その他／○チェーンソーとメンテナンス道具(丸やすり・平やすり・工具・清掃道具・軍手)をお持ちください
○汚れても良い服装でお越しください
○防寒着をご持参ください
- ◆申込・問合せ先／置賜総合支庁森林整備課普及担当 ☎0238-26-6063

人形劇「ひよっこりひょうたん島」の無料公演のご案内

- ◆日時／3月9日(日) 開場13:30～
- ◆場所／川西町フレンドリープラザ
- ◆定員／700名(先着順)
- ◆対象／幼稚園年少～小学校高学年程度
- ◆申込方法／2月28日(金)まで往復はがきかメールで申し込み
※詳しくは下記に問い合わせください
- ◆申込・問合せ先／山形県生涯学習センター ☎023-625-6411

こせきのまど
戸籍の窓

(1月届け出分)

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
萩生 本 間	耀 くん	(秀 章子 聡 子)
小白川 舟 山	凜 ちゃん	(隆 幸子 久 美子)
添川 船 山	寛 生 くん	(泰 宏美 詠 美)
萩生 高 橋	方 織 ちゃん	(信 博 茜 茜)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
添川 昭和 仲 田	よ し さん	91
中 中北 土 田	ユキ子 さん	90
松原 菊 地	い よ さん	94
萩生 中ノ舘 石 山	廣 さん	94
萩生 石原 手 塚	はるの さん	88
萩生 町西 木 村	孝 助 さん	61
萩生 中ノ舘 渡 部	ゆ う さん	87
添川 (ひめさゆ) 梅 津	幸 子 さん	89
萩生 町西 嘉 藤	久 雄 さん	59
添川 上町 小 田	ミエ子 さん	74
中 南新田 坂 本	成 樹 さん	25
萩生 石原 伊 藤	久 吾 さん	88
黒沢 谷地田 佐 藤	信 子 さん	82
高峰 東向 井 上	與五平 さん	64
小白川 十文字 元 木	正 さん	79
添川 (ひめさゆ) 伊 藤	か つ さん	85
添川 昭和 井 上	敦 さん	95
上屋地 川内戸 上 野	み よ さん	93

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		1月分 () 内は対前月比		
世帯数	2,395 (-2)	転入	7	
人	男	3,817 (-10)	転出	13
	女	4,034 (-10)	出生	4
口	計	7,851 (-20)	死亡	18

「町地域福祉計画(案)」へのご意見募集について

今年度、町では福祉のまちづくりをどう進めていくかについての計画「飯豊町地域福祉計画」を策定します。

計画内容について住民の皆さんから幅広いご意見をいただき、最終的な計画策定を行います。

◆計画案の閲覧期間・場所

◇期間/2月24日(月)～3月10日(月)

◇場所/町健康福祉課と町ホームページで閲覧いただけます

◆意見の受付期間

2月24日(月)～3月10日(月)

◆意見の申出方法

下記窓口に来場いただくか、電話やFAXでご意見をお寄せください

◆受付窓口・問合せ先/町健康福祉課 福祉室 ☎86-2233 ☒86-2230

ヤマメ・イワナ・ヒメマスの山形県内の遊漁期間

県内のヤマメ・イワナ・ヒメマスの採捕期間が今年から変更になります。

◆採捕期間

従来	3月1日～9月30日
改正	4月1日～9月30日

◆問合せ先/西置賜漁業協同組合飯豊支部事務局・舟山 ☎74-2375

無料「調停」相談会のご案内

裁判所で行われる「調停」は、当事者間の紛争解決に使える簡単で便利な方法です。調停手続きや利用方法などについて、秘密厳守で相談に応じます。

◆日時/3月11日(火) 10:00～

◆場所/長井市置賜生涯学習プラザ

◆問合せ先/長井簡易裁判所内長井調停協会 ☎88-2073

町営住宅施設管理人募集および雇用予定者登録のご案内

◆職種/町営住宅施設管理人

(町営住宅3団地・いいでハイツ)

◆業務/施設巡視、施設維持管理(簡易修繕・清掃・草刈・除雪など)、各種届出受付(書類交付および説明)、各種相談受付などの業務

◆募集人数/1名

◆勤務条件

○賃金/町の規定による

○期間/4月1日～平成27年3月31日

○勤務日/週3日(月・水・金曜日) および隔週日曜日(第2・第4日曜日)

○勤務時間/8:00～12:00までの4時間(ただし作業内容によっては午後の勤務を要する)

○休日/勤務日以外の平日、土曜日、隔週日曜日、祝祭日、年末年始

○その他/社会保険・雇用保険なし

◆応募資格

○普通自動車運転免許を有していること

○草刈機や除雪機などの機械を操作できること

○性別・住所は問いません

○職員と同様に業務上知り得た情報の秘密保持や公正公平な事務執行を行うことができること

※施設管理経験者を優遇します

◆申込方法/下記問合せ先で交付する申込用紙に必要事項を記載して提出

◆申込期間/2月17日(月)～21日(金)の8:30～17:15まで

◆決定方法/申込書による書類選考の上、必要に応じ面接を行い、選考結果は申込者に文書により通知します

◆申込・問合せ先

役場地域整備課建設室 ☎87-0516

◇思い立ったらすぐに行ける距離にある手ノ子スキー場。週末の取材で必ず会うのがこのメインの練習場になっているジュニアレーシングクラブの子どもたち。週5日練習しているとのこと。急斜面に立てたポールの間を、エッジで雪を切るようにすり抜けていく滑りは美しく、力強い。開催中のソチオリンピックに日本人選手最年少で出場しているスノーボード男子ハーフパイプの平野選手(新潟県村上市)は、小国町のスキー場でその技術を磨いたとのこと。「手ノ子スキー場からオリピック選手」の期待が膨らみます。(かつみ)

編集
後記



第2回 心の古里いいでフォトコンテスト

テーマ：ふるさとを感じさせる飯豊の風景、自然と四季・人・花・樹木

特別賞 「願いを込めて」



ISO640 1/40秒 F4

佐藤秀明審査員の講評

飯豊や飯豊の人たちの思いが伝わってくるような作品です。この写真を見ただけでワクワクします。バルーンが風に揺れて動きのある瞬間をよくとらえています。バルーンの上部を切ったのも成功でした。

審査員 佐藤 秀明 氏

日本大学芸術学部写真学科卒業後、世界中の辺境を旅し、自然と人間、文化を独自の視野で撮り続けておられます。



Series

掲載順について
季節に合わせて受賞作品を掲載します

受賞のよろこび

今回は思いがけない受賞ありがとうございました。写真は昨年の中津川雪まつりの風船上げのひとコマです。2月中は毎日猛吹雪の夜でした。紙風船を作った若者と地元の人たちの期待を念じてシャッターを押しました。当日は朝から吹雪でしたが風船上げの時は風も止み空に月も出て風船は順調に夜空に舞い上がり寒さと雪像づくりの苦勞を吹き飛ばしてくれました。

山口 吉右衛門さん（宇津沢）